

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

【Vol.43】2016年9月発行

【ご挨拶】大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎  
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

8月は、オリンピックの数々の名勝負に興奮した毎日でしたが、先日、大分で行われた英国ラグビー校と大分舞鶴高校の交流試合も接戦で良い試合となりました。9月1日からは日田市において、フェンシングの日本、韓国、香港、カザフスタンの代表チームが一堂に会し合同の強化合宿が行われています。スポーツにおいても、大分において国際交流の輪が広がっています。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



## 大分県の海外関連施策について



農林水産部  
おおいたブランド推進課  
課長

後藤 陽一  
(Yoichi GOTO)

【連絡先(Mail)】  
[goto-yoichi@pref.oita.lg.jp](mailto:goto-yoichi@pref.oita.lg.jp)

大分県の農林水産物のブランド化を担当している後藤です。おおいたブランド推進課では、もうかる農林水産産業を目指して、国内流通の促進や食品産業等との農商工連携、海外輸出の拡大に取り組んでいます。

特に農林水産物・食品の輸出では、日本の食文化への関心の高まりを追い風に、輸出国開拓や品目拡大の取組に力を入れているところです。

おかげさまで、昨年度、マカオでの大分県フェアを通じて、「おおいた豊後牛」が高い評価をいただき、新しい取引が始まりましたし、香港でも、高糖度かんしょ「甘太くん」の人气が沸騰し、売上げを伸ばしています。

毎年9月には、中華圏において中秋節向けの日田梨の販売促進フェアを開催し、好評を博していますが、今回9月9日から11日の間、台湾では「養殖ブリ」や「乾しいたけ」など海の幸山の幸もあわせてPR販売したいと思っています。また、10、11月には、これまでのアジア圏に加えて



アメリカ、カナダでも新たな販路開拓に向けたフェアを開催する予定です。

海外でご活躍の皆様には、大分の世界へ向けた“味力(みりょく)”発信に是非お力添えくださいますようお願いいたします。



## 注目記事① リオで大分県人交流 オリンピックの応援団

南アメリカ初開催のリオデジャネイロ・オリンピックはパラリンピックを残して無事終わり、2020年開催の東京へ向け、新しい一步を踏み出しましたが、このリオ五輪にも大分県人交流がありました。

大分県からの五輪出場は2人と寂しい限りでしたが、女子柔道78<sup>キ</sup>級に出た梅木真美選手を応援するため、九重町から親族や坂本和昭町長ら、11人の応援団に、ブラジル大分県人会の元会長で、九重町出身で遠戚にあたる永松通一さんらが出迎え、行動を共にしました。永松さんはコチア青年として移住して、50余年、サンパウロにお住まいですが応援団が来るとして、半年近く前から計画していました。試合は初戦敗退の残念な結果になりましたが、まだ若いので東京五輪を目指して頑張っていたいただきたいところです。

【ブラジル大分県人会】

大分のリオ五輪応援団を歓待  
 応援団梅木選手親族ら11人が来伯

↑ブラジルの「ニッケイ新聞」に取り上げられました

## 注目記事② 小・中学生イングリッシュ・キャンプ

県教育委員会は、グローバル人材育成推進プラン(H26年10月)の中で、これから生きる子どもたちが、世界に挑戦し、多様な価値観を持った人々と協働していく上では、①挑戦意欲と責任感・使命感 ②多様性を受け入れ協働する力 ③大分県や日本への深い理解 ④知識・教養に基づき、論理的に考え伝える力 ⑤英語力(語学力) の5つの力の「総合力」が必要であるとしてきました。

その取組の一つとして、平成27年度から、小学生5・6年生と中学校1・2年生をそれぞれ対象にイングリッシュ・キャンプを実施しています。【義務教育課】

### 小学生イングリッシュ・キャンプ(7月25日・26日)

県内の小学校第5・6学年の児童74名と県内勤務のALT(外国語指導助手)18名が参加して、湯布院自然の家ゆふの丘プラザ(由布市)で、平成28年度小学生イングリッシュを開催しました。参加児童は、ALTとの交流活動を通して、英語に慣れ親しみながら、英語に対する興味・関心が高まりました。



### 中学生イングリッシュ・キャンプ(8月3日～5日)

中学生イングリッシュ・キャンプは、2泊3日の日程で、大分県マリンカルチャーセンター(佐伯市)で行われました。中学生79名にとっては、ALT23名との活動や英語を使った生活を体験することで、英語学習へのさらなる意欲付けの機会となりました。外部検定試験受験への挑戦意欲を示す生徒もいました。



## 注目記事③ 第13回大分アジア彫刻展の開催

第13回展のご案内(10月8日(土)～11月27日(日) 朝倉文夫記念文化ホール)



前回(第12回展)の様子

朝倉記念文化ホール(豊後大野市朝地町池田1587-11)へのアクセス

【車】(大分方面) 大分自動車道「大分米良IC」～中九州横断道路「大野IC」～「大野西部小学校先」信号右折約10分(大分市より60分)  
(熊本方面) 国道57号線～「大野西部小学校先」信号右折約10分(熊本市より約120分)

※昨年度に看板の増設・修復工事を行いアクセスしやすくなりました!

【鉄道】 JR豊肥本線「朝地駅」下車、タクシーで約10分



## 注目記事③ 第13回大分アジア彫刻展の開催

(前ページより)豊後大野市出身の彫刻家、朝倉文夫を称え、アジアの若手彫刻家の発掘と育成を目的に平成4年から開催されている大分アジア彫刻展が今回で13回目を迎えました。今回は、アジア15か国から前回は大きく上回る411点の応募があり、大賞1点、優秀賞6点の受賞作品を含む入選作品30点が展示されます。その他にも、会期中の土・日曜日を中心に朝倉文夫記念文化ホール等でワークショップやイベントも開催します。朝倉文夫のふるさと、豊後大野市の豊かな自然とともに、アジア各地の若い彫刻家たちのエネルギッシュな現代彫刻作品をぜひご鑑賞下さい！

### 受賞作家トークイベント



第13回入賞作品(大賞1点【左端】・優秀賞6点)

10月9日(日)には、大分県立芸術文化短期大学にて、「受賞作家トークイベント」を開催します。国内や海外の受賞作家から、作家になったきっかけや、作品にこめる思い等を語ってもらいます。気になる作品が1つでもあれば、その作家さんに会いに行きましょう！  
【芸術文化振興課】

## 注目記事④ アジア最大級の食品見本市FOOD EXPO 2016

8月11日から13日の3日間、香港『FOOD EXPO 2016』に大分県ブースを出展し、調味料や菓子、飲料、酒類等を製造・販売する県内企業6社が参加しました。

毎年この時期に開催される『FOOD EXPO』は、地元香港を中心に世界各国から約2万名のバイヤーが訪れるアジア最大級の国際総合食品見本市といわれています。

平成27年の日本から香港への農林水産物・食品の輸出額は、1,794億円と二位以下を大きく引き離して世界第一位、さらに前年比33.5%増と近年急速に拡大を続けており、香港は日本産農林水産物・食品の世界最大の市場です。

ジェトロが設置した「ジャパンパビリオン」内に出展した本県ブースには、多くのバイヤーが訪れ、活発な商談が行われました。

海外の県関係者の皆様に故郷の味を現地で気軽に楽しんでいただけるよう、こうした活動を通じて、安心・安全かつ良質な大分県産食品の海外販路拡大に引き続き取り組んでいきます。【商業・サービス業振興課】



← 多くのバイヤーで賑わう「FOOD EXPO 2016」会場

→ 大分県海外親善大使の別府集団 呂恵光氏(左から2人目)一行も来場



# 海外大分県人会交流掲示板



## インドネシア県人会

8月9日に、7月からインドネシア大分県人会会長となった吉渡会長が来課しました。インドネシアでの生活の様子や、関与されている仕事のこと、大分県とのつながりについて意見交換をしました。【国際政策課】



## フィリピン県人会 青年海外協力隊の山路様からの活動報告



農民たちを前に、有機農業の重要性を話す筆者(昨年7月)



私のフィリピン赴任1年を祝ってくれた同僚たち(昨年10月)



大分から来た母親と妹を囲んだ歓迎会にて(今年7月)

青年海外協力隊でフィリピンに派遣中の山路健造＝大分市出身＝です。ルソン島南部の南カマリネス州ティナンバック町農業事務所で活動しています。

私の活動の原点は「モットイナイ」。フィリピン語にも「サヤン」という表現があり、外国人だからこそ気づく、日常のモットイナイを指摘することを活動の柱としています。

有機・無機ごみも混ぜて投棄する、堆肥場が使われていない。こんな状況から、有機ごみをミズに分解させる堆肥を実践。また、農家は高い化学肥料を使い続けるために土が硬くなっていく。サヤン。自然の材料を使った有機農業を推奨するのは、健康面や野菜の付加価値だけではありません。

そして、わが町の名物はココナッツ。しかし、1キロ20ペソ(約40円)と安価で実のまま出荷。農家の収入向上のため、ココナッツオイルの加工事業にも取り組みました。

現在、最後の仕上げとして、日本の技術、木酢を作るプラントの建設を進めています。防虫、除草の効果もある木酢。煙を冷やして木酢液を抽出するため、有機ごみの熱処理にもつながります。しかし、町の選挙などで工事は半年以上遅れた状態。来月6日の帰国までに完成させるべく、ラストスパート中です。

## 英国研修レポート



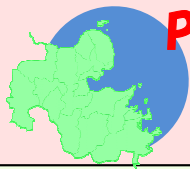
今回の研修では、ラグビーワールドカップ開催都市の先輩ともいえる、イギリスの各都市を訪問し、当時の取り組みについて調査しています。開催都市のひとつ、レスターシティはユニークなPRで話題を集めました。同市にある宇宙センターから、ラグビーボールをバルーンに乗せて宇宙へ打ち上げたそうです。また、日本の試合も行われたグロスター市では、オリジナルキャラクター「スクランプティ」を使ったPRや、試合国にちなんだ文化イベントが行われ成功を収めています。どちらも小さな都市ですが、町中が一体となって、国内外から来る観客におもてなしをしたということです。【国際政策課 難波】



↑研修に関し  
グロスター市の  
citizen誌に  
取り上げられ  
ました

難波





**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（8月）



## 【8月2日（火）】産業用ドローン大手が研究所開設を表明



産業ドローンの国内大手である株式会社エンルートが、研究所を大分市に開設することを表明しました。海洋ドローンや、害獣対策用の無人車両の試験を実施し、地元の農業・漁業従事者と連携して研究開発を行う見込みです。



## 【8月6日（土）】日田市気温が全国1位38.2℃

最高気温が35℃以上に達する日が7月下旬から20日間続いた日田市では、6日の最高気温が38.2℃まで上昇し、全国一位を記録しました。暦の上では7日から立秋を迎え秋となりますが、秋とはほど遠い厳しい残暑になりました。



## 【8月11日（木）】巨大ブランコが登場



新たに制定された国民の祝日「山の日」にあわせ、竹田市の温泉宿泊施設「民宿久住久住高原温泉」で、住民の制作による高さ25メートルの木造ブランコが設置されました。現在のギネス記録22.9メートルを上回る高さで、往復7秒ほどかかるそうです。



## 【8月28日（日）】英国ラグビー校とラグビー交流試合

ラグビーが生まれた地であるイングランドのラグビー校と大分舞鶴高校が交流試合をしました。試合の終了間際にトライで逆転され、22対20で惜しくも敗れました。ラグビー校のサイモン・ブラウン監督は、「タフなゲーム」だったと試合をたたえました。



※国際政策課にて新聞等を元に作成



## 中国湖北省研修員の「私の大分☆見聞録」

～夏の物語in大分～

「春はあけぼの、夏は夜、秋は夕暮れ、冬はつとめて」とは平安時代の清少納言なりのオリジナルな四季の感覚です。平安時代、夏の夜空は星がきらきら輝いてきれいでしょう。火器の発明で火器時代に入り、花火技術が進んで、夏の夜空に星に劣らない花火が登場します。私は日本での四季の感覚は「春はちらりほらりと咲き始めた花、夏は燦爛たる花火、秋は山を赤くまで染められる紅葉、冬はぼつぼつと降りだした雪」です。



日本の夏は花火のシーズンです。それは夏の旬の味でしょう。もちろん中国も花火がありますが、主に、旧正月の時、打ち上げられます。日本では、花火は夏の物語の一環として晴れる夜空を彩ります。

留学の時、平和の花火と銘を打たれた長岡花火を見ました。それは今まで見た花火の中で一番きれいだと思います。別府の花火大会は別府湾で、二隻船から花火が打ちあがりました。海面から打ちあげられた花火は初めてでした。無限に広々たる海と美しい花火、微かな風が吹き、どんどん飛び上がった五彩の花火が夜空でいろいろな形を描いて、夏の物語を語りました。時には可愛い笑顔、時にはリボン、時には日本語が下手な私に言葉で描けない模様です。残念ですが、私のカメラではその美しさを取れませんでした。燦爛たる花火は永遠に私の記憶に残り続けます。

【研修員 謝芳】

# From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミアム・スターリング  
(Miriam Starling)  
県国際交流員  
英国  
[pu101503@pref.oita.jp](mailto:pu101503@pref.oita.jp)

最近はとても忙しかったですが、とても楽しかったです。まず、府内戦紙。去年、府内戦紙で踊って、素晴らしい経験だったので、今年も友達と半被を着て、紙と顔を飾って、踊りました。日本の祭りとお祭りが大好きだし、大分県でしかできないことなので、いい思い出が作れました。府内戦紙で踊ることを皆さんに勧めます。踊りが下手でも、熱心があればOKです(私も踊りが下手です)。府内戦紙だけではなく、べっぴん火の海まつりと大分市の大分合同新聞花火大会という他の祭りにも行きました。最近浴衣と下駄を買ったので、両方のイベントは浴衣で行きました。驚いたことに、美味しい物を食べながら、花火を観たり、友達と喋ったりすると、なんだか落ち着いている気分になりました。周りの人が楽しんでいる雰囲気のおかげか、きれいな水に映った花火の光のおかげか、わかりませんが、とても嬉しかったです。蒸し暑さがいいですが、それ以外では日本の夏が好きです。大分の夏も特に好きです。



金 眞雅  
(Kim Jina)  
県国際交流員  
韓国  
[pu101502@pref.oita.lg.jp](mailto:pu101502@pref.oita.lg.jp)

友達が一緒に祭りへ行こうと誘ってくれて、2週連続で豊後大野市へ行ってきました。13日には三重町で今年14回目を迎えるらいでん祭りが開かれました。各団体の山車が練り歩き、ステージの前でパフォーマンスなどを披露してくれますが、特にかわいい山車と空手のパフォーマンスが印象深かったです。

その次の日は緒方町で小松明火祭りが開かれるため、友達の職場の方が案内してくださいました。多くの松明が一斉に点火され、暗い中幻想的な雰囲気が醸し出されていました。20日は三重総合グラウンドで三重町納涼花火大会があって、友達とおそろいの浴衣を着て見に行きました。浴衣を着てかき氷を食べながら打ち上がる花火を見ていると日本の夏を満喫しているようで楽しかったです。



シェリダン・ミキシック  
(Sheridan McKisick)  
県国際交流員  
米国  
[pu1014001@pref.oita.jp](mailto:pu1014001@pref.oita.jp)

初めて飛行機に乗る以外の目的で国東市に行きました。国東は思ったよりきれいでいろいろな面白い観光スポットがあります。最初に行入ダムに行きました。ダムから山がよく見えてとても美しいです。

ダムに行ったあとで両子寺に行きました。寺が山に位置して山麓にあるそば店で昼ご飯を食べました。暑い夏の日冷たいそばを食べるのはすばらしいです。昼ご飯を食べた後で、寺に入って歩きました。安らかな場所で大分市の忙しさから逃避できました。

大分市に帰る前に、大分空港の隣の道の駅でキウイアイス食べて空港の足湯に足を浸しました。快い経験でした。



章 羽紅  
(Yuhong Zhang)  
県国際交流員  
中国  
[pu101501@pref.oita.jp](mailto:pu101501@pref.oita.jp)

姫島村は大分県18市町村の中の唯一の村で、古事記や日本書紀に記載されている古い島です。渡り蝶であるアサギマダラの飛来地としても有名です。姫島村では8月14日-15日に毎年恒例の盆踊りが行われました。14日、15日二日連続で夜7時すぎに、アヤ踊りや、銭太鼓、タヌキ踊り、更に人気のキツネ踊りが2時間ほど披露され、観光客を楽しませました。宿泊の民宿での夕食に、姫島村養殖の「車エビ」が出され、刺身としゃぶしゃぶで食べました。初めて刺身でエビを食べたので、わくわくしていました。一晩島に泊まり、島の独特な雰囲気を感じて、次の日にレンタサイクルで島を一周して、姫島不思議伝説を探しました。海水浴場で泳いで、よく整備された村に感じしながら、また行くと決めました。



## なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【宇佐市／豊後大野市】



(宇佐市)  
「ぶどう」  
気温差の激しい安心院盆地で  
多彩な品種が栽培



(宇佐市)  
「オオサンショウウオ」  
国の特別天然記念物  
院内町は九州唯一の生息地



(豊後大野市)  
「豊のしゃも」  
肉質は脂肪が少なく、締まり  
があり、うまい地鶏



(豊後大野市)  
「沈壇の滝」  
国指定記念物で水墨画家・雪舟  
の「鎮田深図」のモデル



## 話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供先/お問い合わせ先】  
国際政策課 担当:野田  
【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

